

環境科学院 地球圏科学専攻

修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 平成26年2月6日（木）

●座長： 入野 智久（大気海洋化学・環境変遷学コース助教）

13:30-13:50 北山 あさみ （大気海洋化学・環境変遷学コース）
「年輪幅及び炭素安定同位体比を用いたモンゴル森林域における過去100年間の環境変動解析」

13:50-14:10 光岡 昇平 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「台風季節予報に向けた大気・海洋環境場のデータ解析」

14:10-14:30 乙丸 真希 （大気海化学・環境変遷学コース）
「南大洋に生息する植物プランクトン *Phaeocystis Antarctica* の光合成能力とDMSP生産の関係」

14:30-14:50 唐木 達郎 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「北海道沿岸海洋の縦に立った密度構造と、それに伴うジェットについて」

< 20分休憩 >

●座長：西岡 純（大気海洋化学・環境変遷学コース准教授）

15:10-15:30 山崎 哲哉 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「10分値降水量を用いた東京とその近郊における短時間強雨の特徴」

15:30-15:50 猪狩 義貴 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「水温前線によって変調された海上風が海洋混合層へ与える影響」

15:50-16:10 箕輪 昌紘 （雪氷・寒冷圏科学コース）
「南パタゴニア氷原ペリートモレノ氷河とアメギノ氷河の末端変動と表面標高変化」

【第2日目】 平成26年2月7日（金）

●座長：渡辺 力（雪氷・寒冷圏科学コース教授）

11：00－11：20 大平 深史 （大気海洋化学・環境変遷学コース）
「海水柱におけるアーキア脂質の空間分布とサイズ分布」

11：20－11：40 吉村 志穂 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「ENSOに伴うインド洋の対流活動と亜熱帯北西部太平洋の大気変動との関係」

11：40－12：00 李 勃豊 （大気海洋化学・環境変遷学コース）
「北太平洋亜寒帯海域におけるpHの時空間分布に関する研究：
pH簡易測定法の改良とパラメタリゼーションの展開」

< 1 時 間 休 憩 >

●座長：大島 慶一郎（大気海洋物理学・気候力学コース教授）

13：00－13：20 藤原 有 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「ケープダンレー沖における南極底層水流出に
起因する流速変動」

13：20－13：40 幸田 笹佳 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「室内実験における海水 granular ice の形成過程について」

13：40－14：00 相澤 健太郎 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「海洋における東向きジェットの侵入に伴う再循環の長さ」

< 20 分 休 憩 >

●座長：藤原 正智（大気海洋物理学・気候力学コース准教授）

14：20－14：40 伊藤 優人 （大気海洋物理学・気候力学コース）

「沿岸ポリニヤにおける過冷却水およびフラジルアイスの
生成に関する観測研究」

14：40－15：00 岡本 彩加 （雪氷・寒冷圏科学コース）

「NGRIP 氷床コアを用いた過去 300 年間の不揮発性微粒子の
化学組成」